

責任編集
長谷川勝士
(はせがわ鍼灸院)

1950年生まれ・姫路市出身
駒澤女子大学非常勤講師
(コミュニケーション論)
鍼灸師(社)日本鍼灸師会会員



中国雲南省・秘境の旅

中国の奥地で、今でも象形文字を使っている少数民族がいるという。ずっと会いたいと思っていた。その長年の夢がいついかなかった。私はまだコーフンしている。高山病にもなったのだから(涙)。

■二年中「春」の街・昆明

中国雲南省は日本から西南へ遙か5千キロも離れたところにあり、ベトナム・ミャンマー・ラオスと国境を接し、その面積は日本とほぼ同じ。

首都 昆明は標高2千メートルの高原にあり、意外なことに一年を通して気候は温暖で「春城」と呼ばれている。マフソンランナー、高橋尚子選手が今、高地トレーニングをしている、あの昆明である。

今回、中国での鍼灸臨床研修で「昆明市中医院」を選んだのは、ヨーロッパでも活躍中の菅達亮老師(先生のこと)の直接指導を受けられるからである。菅老師は、日本人である私や、スイス等からやってきた鍼灸師に対し、卓越した技術、理論を披露してくれた。

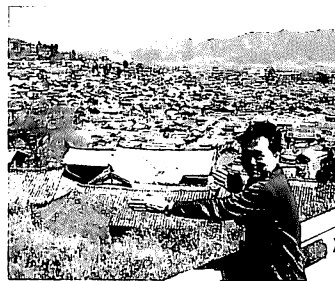
驚いたのは病院に、様々な「顔」を持つ



菅老師(左)と私(右)。患者は脳性マヒの三歳児。頭部に20本の鍼をうつ(!!)

つ人々が来院されていたことである。なぜなら雲南省は26もの民族が暮らす、中国人にとっても「秘境」といわれるスゴイ所なのだ。

■世界文化遺産都市・麗江



麗江の街並み。麗江はチベットと雲南を結ぶ交易の要衝として栄えた

話はいきなり飛ぶが、私も臨床研修を終え、昆明から飛行機で40分、世界文化遺産の街 麗江へ飛んだ。高倉健さんの主演映画「単騎、千里を走る」の舞台となった街で、標高2千4百メートルにある。日差しが強く、空気が澄み切っている。…と言っより、空気がうすい。

小高い獅子山から街並みを眺めると、整然と瓦屋根が並んでいる。南宋時代(今から8百年前)に木氏一族により作られたこの街は家々が軒を連ね、その歴史の重みと美しさで1997年に世界文化遺産となった。

中国の都市はすべて城壁で守られているが、この麗江に城壁の囲いはない。なぜなら、木氏族の「木」を城壁で囲むと「困」という字になる。それを忌み嫌い、城壁のかわりに家々を三重三重に連ね、迷路にすることで街を敵から守ってきたのである。

■ついに生かした「トンパ文字」

雲南省の奥地で、今でも象形文字を使

つて生活しているのがナシ族という少数民族で、その文字は「トンパ文字」と言われている。漢字のようであり、絵のようでもあり、見る者のイメージをふくらませてくれる。麗江を歩くと至る所でトンパ文字が踊っている。麗江を治めた木氏一族はナシ族であり、そのナシ族がトンパ文字を発明したのだ。



大トンパの和・如麒さんとトンパ文字。トンパ文字の墨は鍋の底に付いた松の木のススと動物の脂を混ぜたもの

トンパとは「智者」という意味があり、現在では「大トンパ」一人と、その継承者3人がトンパ文字を今に伝えている。25万人のナシ族の人々から尊敬を集めている大トンパである「和 如麒」(ホウ・ニョウキ)さんにお会いすることができた。そしてなんと、「健康祈願」を意味する文字をいただいたのだ。(涙)

描かれている7文字の意味は左から順に、「家族」と「あなた」は「ト」のよう「強」に、「腕(健康)」に「す」ことができる。そして、あなたの周りの「人」は「善の神」に守られ「雲」のように永遠に「生きる」のである。

■調子に乗って「高山病」?

大トンパの「和」さんに健康を保障していただきすっかり気をよくしたワタクシ。せっかくなので中国国境まで来たのだから

と、麗江郊外にそびえる玉龍雪山に向かった。オンボロバスは急な坂道をクネクネと登り、さらに鉄骨が錆び、今にも壊れそうな雪山リフトを乗り継ぎ、標高3千メートルにたどり着いた。そこからさらに徒歩30分。空気がうすい、というつか、酸素が…ない。だって、ほとんど富士山と同じ高さやんか!



玉龍雪山(標高5600m)と酸素を吸う私。雪を頂いた山の姿が空を飛ぶ龍に似ていることからこの名前が付いた

ヒューヒュー言いながら、ついに頂上が雪に覆われた玉龍雪山を正面に捉えた。その瞬間! ワタクシは倒れていた!

酸欠で頭はクラクラ、目の焦点が合わない。これが高山病か?! 咄嗟に登山前に渡された酸素缶を必死に吸う。セブイレブンの酸素缶の4倍はある中国製酸素のおかげでワタクシは生き返った。恐るべし山の神! そして、ありがたう「トンパ文字」!!

ちよ...
今月は「トンパ」
字数の写真を
多さきくねっ
ハハハ...
「トンパ」日記も
MCVね。

はせがわ院長のブログ【ハハリ日記】は下記URLより
HP <http://shinkyu.ne.jp/>
メール hasegawa@shinkyu.ne.jp

カメラ付き
ケータイの
方はこちら